

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】令和3年9月30日(2021.9.30)

【公開番号】特開2020-128609(P2020-128609A)

【公開日】令和2年8月27日(2020.8.27)

【年通号数】公開・登録公報2020-034

【出願番号】特願2019-21815(P2019-21815)

【国際特許分類】

A 42 B 3/20 (2006.01)

【F I】

A 42 B 3/20

【手続補正書】

【提出日】令和3年8月17日(2021.8.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

前方側に窓孔を有するヘルメットの外側シェルの内側に設けられ、前記外側シェルに回動可能に取り付けられた左右一対のホルダーに取り付けられ、少なくとも前記窓孔の一部を閉塞または開放できるバイザーを備えたヘルメットに適用され、

操作部及び係止部を有するロック部材が少なくとも1つの前記ホルダーの近くに配置され、前記操作部によって、前記係止部と前記ホルダーに設けられた被係止部とが、嵌合または離脱することによって、前記バイザーが固定または開放されることを特徴とするバイザーのロック機構。

【請求項2】

前記ロック部材は、回転軸に軸支される円板状に形成された軸支部と、前記軸支部から径方向外側へ向けて突出すると共に軸方向から見て前記軸支部の回転中心を中心とする扇状に形成された扇板部と、を備えており、

前記操作部が、前記扇板部の周方向一方側の端部から径方向外側へ向けて突出し、

前記係止部が、前記扇板部の周方向他方側の端部から周方向他方側へ向けて突出している請求項1記載のバイザーのロック機構。

【請求項3】

前記窓孔の前方側において該窓孔を開閉するシールド板の内側において、前記操作部が前記窓孔から突出している請求項1又は請求項2記載のバイザーのロック機構。

【請求項4】

前方側に窓孔を有する外側シェルと、

前記外側シェルの内側に設けられ、前記外側シェルに回動可能に取り付けられた左右一対のホルダーに取り付けられ、少なくとも前記窓孔の一部を閉塞または開放できるバイザーと、

前記外側シェルにおいて少なくとも左右の一方側に設けられた請求項1～請求項3のいずれか1項に記載のバイザーのロック機構と、

を備えたヘルメット。